

エチオピア：ティグライ州の政党「アリーナ・ティグライ」等の政党の党员に対する（TPLF）等による攻撃に関する情報（2010年～現在）

エチオピアの「ティグライ州の政党「アリーナ・ティグライ [Arena Tigray]」（または同種・同等の野党）の党员に対するティグライ人民解放戦線（TPLF）または TPLF 支配下の官民組織（州警察、民間企業等）による取扱い（2010年～現在）」に関する調査依頼に対し、難民研究フォーラムが規定の時間的制約の中で調査したところ、関連しうる情報として、既に調査済みとして指定された 2021年2月のオランダ外務省報告、イギリス国境・移民独立主任検査官 2020年2月報告および 2020年2月18日付けボルキナ [Borkena] 記事のほか、以下の情報が見つかりました。

1. アリーナ・ティグライ等のティグライ州の野党	1
2. アリーナ・ティグライ等のティグライ州野党の構成員や支持者のティグライ州内での州政府当局や TPLF 支持者等による取扱い	2
3. 2020年9月のティグライ州議会選挙	6
4. 連邦政府による暫定統治下のティグライ州野党の動向	8
5. 近時のティグライ州外でのティグライ人の取扱い	8
参照：	11

1. アリーナ・ティグライ等のティグライ州の野党

ア オーストラリア出身国・庇護研究ドキュメンテーションセンター（ACCORD） [「エチオピア：COI 編纂」](#) eoi（2019年11月）

3.6 その他の野党および野党連合

...

…Borkena の 2019年8月の記事によると、ティグライ州には4つの野党がある。それらは、大ティグライ国民会議 [National Congress of Great Tigray] (BAITONA)、第三革命ティグライ [Third Revolution Tigray] (TRT)、アリーナ・ティグライ [ARENA Tigray] および、TAND (ティグライ国民民主主義同盟 [Tigray Alliance for National Democracy]) である。(2019年8月25日付けボルケナ [Borkena])

...

2018年10月、民主主義及び主権のためのアリーナ・ティグライ [Arena Tigray For Democracy and Sovereignty] (アリーナ) とティグライ国民民主主義同盟 (TAND) は、協働合意に署名した (ザ・リポーター・エチオピア [The Reporter Ethiopia]、2018年10月27日)。また、2018年10月の Ezega の記事は、この合意について言

及し、こらら2つの政党の概要を以下のように説明している。

「ザ・リポーターによると、民主主義及び主権のためのアリーナ・ティグライ（アリーナ）とティグライ国民民主主義同盟（TAND）が協力関係を結ぶことに合意した。アリーナのゴイトム・ツェガイ〔Goytom Tsegay〕議長代理によると、両党は協働して将来的には合併することに合意したという。アリーナ・ティグライとTANDは共に、ティグライ人民解放戦線（TPLF）の元メンバーによって設立された。アリーナ・ティグライは、1998年から2000年にかけてのエチオピア＝エリトリア戦争でメレス・ゼナウィ〔Meles Zenawi〕と対立した後、ゲブル・アスラト〔Gebru Asrat〕元ティグライ州政府大統領をはじめとするTPLFの元メンバーによって設立された。TANDは、1979年にメレス・ゼナウィや彼の支持者と対立し、1985年に戦線から追放されたTPLFの元指導者アレガウィ・ベルヘ〔Aregawi Berhe〕が24年前に亡命先で設立したものである。[...]

アリーナは、4つの政党の連合体であるメドレック〔Medrek〕の構成政党の一つである。その他の政党は、オロモ連邦議会（OFC）、シダマ解放運動（SLM）、エチオピア社会民主主義党（ESDP）である。TANDは、約24年前に亡命先で設立された政党で、最近帰国した。この党は、闘争時代に地位を捨てて亡命したTPLFのアレガウィ・ベルヘ元議長や、同じく80年代半ば頃にTPLFを脱退したゲダイ・ゼラツィオン〔Geday Zeratsion〕などのTPLF幹部が中心となって設立された」。 (2018年10月29日付けイゼガ〔Ezega〕)

7.3 ティグライ州

7.3.1 ティグライ州における政治的な不満

...

2019年1月にエチオピア・オブザーバー〔Ethiopia Observer〕が報じたように、野党「民主主義及び主権のためのアリーナ・ティグライ」の創設者であり、ティグライ州政府元大統領であるゲブル・アスラトは、「ティグライ人民解放戦線の幹部らは、連邦政府に対して「過激なレトリック」を用いながら、ティグライの人々を「人質」にしている」と述べた。(エチオピア・オブザーバー、2019年1月16日)

...

2. アリーナ・ティグライ等のティグライ州野党の構成員や支持者のティグライ州内での州政府当局やTPLF支持者等による取扱い

ア [米国國務省「人権状況に関する国別報告 2019年 エチオピア（法務省仮訳）」](#)
入管庁ウェブ（2020年3月11日）

政党及び政治参加：…OLF, NaMA, 全国民主主義ティグライ連合 (Tigrayan Alliance for National Democracy : TAND), OFCなどの政党が、政情不安定や、党員らに対する嫌がらせ、脅迫及び暴力が原因で、国内の特定地域で事務所を開設したり、運

営したりすることができないと報告した。

...

TAND の報告によると、ティグライ州警察が 2019 年 6 月 26 日にメックエル (Mekelle) で葬儀に参列していた TAND 党委員長アレガウィ・ベルヘ (Aregawi Berhe) を勾留し、殺害しようとしたという。アレガウィは、若者のグループが自身を襲撃しようとしたと主張した。その後に警察が介入し、説明もなくアレガウィをクイハ (Kuiha) の拘置所に一晩勾留した。その後、警察官 4 名が別の TAND 党员アマニュエル・ウォルデ・リバノス (Amanuel Wolde Libanos) を森に連れ込み、無理矢理毒殺しようとした。アマニュエルはその襲撃から生き延びた。

イ オーストラリア外務・貿易省 (DFAT)「[出身国情報報告 エチオピア \(法務省仮訳\)](#)」入管庁ウェブ (2017 年 9 月 28 日)

政治的意見 (実際のまたは帰属された)

...

3.32 どの反対派グループでも中心メンバーは、テロリスト組織とみなされていない合法的な反勢力も含め、ATP に基づく監視下に置かれたり、嫌がらせを受け、逮捕され、告訴されたり、あるいは容疑なく拘留されている。拘留期間は数日から数年と様々である。2015 年の選挙につながった取締りも報じられている。例えば、2014 年 7 月 8 日、民主主義と正義のための統一 (Unity for Democracy and Justice)、アリーナティグレイ党 (Arena Tigray Party)、及びセマヤウィ党 (Blue Party) の 3 つの野党の中心メンバー 4 人が逮捕されマエケラウィ (Maekelwai) 拘置所に拘留された。このうち少なくとも 1 人は拘留中に拷問を受けたと主張しており、全員が弁護士や家族との面会を認められなかった。4 人は 2014 年 10 月、ATP に基づき告訴された。2015 年 8 月、逮捕から 12 か月以上たつて (2015 年の選挙から数か月後) 連邦裁判所は彼らのテロ行為やテロ組織との関連を示す証拠を見つけていない。

※前提版。 [2020 年 8 月 12 日付け現行版](#)に記載なし。

ウ 米国国務省「[人権状況報告 2010 年 - エチオピア \(法務省仮訳\)](#)」入管庁ウェブ (2011 年 4 月 8 日)

第 1 節 : 個人としての完全性の尊重, 以下の不利益からの自由 :

a. 恣意的又は法に基づかない生命の剥奪

...

政治犯及び政治的理由により拘留された者

...

(2010年)8月、幾つかの野党の指導者の報告によれば、特にオロミア、アムハラ、及びティグライ州で、野党支援者の逮捕、拘留が激しくなっているとのことである。...

...

第2節 市民的自由権の尊重,以下の各権利など

a. 言論及び報道の自由

...

学問の自由及び文化的行事

政府は、その年学問の自由を制限した。当局は、どのレベルであれ、教師が公式の科目から逸脱することは許可しなかったし、大学キャンパスでの一党に偏した政治活動及び組織は、積極的に禁止をした。無数の事例報告は、EPRDのメンバーでない者は、望ましくないポストに異動させられ、昇進が迂回させられたと伝えている。政党员、人種、又は宗教に基づく大学社会の偏見に個人的な不満が無数にあって、大学の人事決定に透明性が欠けていたのである。言論、表現、及び集会は、大学及び高等学校キャンパスでしばしば制限された。野党、特にオロミア、ティグライ、アムハラ及びSNNPRなどのメンバーであるか、支持者であると考えられた何人かの教師は、地方職員から嫌がらせがあったと報道され、また仕事を失う脅しや遠方の地への異動の脅しがあったと報道された。

...

第3節 政治的権利の尊重 政府を変える国民の権利

...

選挙及び政治参加

...

州議会の野党候補のアレガウィ・ゲブレヨハネス (Aregawi Gebreyohannes) は、3月2日西部ティグライで殺害された。彼は、野党連合フォーラムに所属するアレナ・ティグレイ (Arena Tigray) のパーティのメンバーであった。党首のゲブル・アスラト (Gebru Asrat) は、その殺害が、アレガウィへの数週間に渡る嫌がらせや様々な政治活動を契機とした逮捕の末に起こったと述べた。政府は、彼の死は、アレガウィとアレガウィレストランの客であったチゲ・ベルハン (Tsige Berhane) との個人的な言い争い及び衝突が原因であると発表した。チゲは、(2010年)3月10日に殺人罪で有罪となり、15年の懲役を宣告された。

...

2010年、統一民主主義勢力 (UEDF)、UDJ、OFDF、民主主義及び主権のためのアレナ・ティグレイ (Arena Tigray) 及び OPC からの報告によれば、同メンバーらは逮

捕され、全国の政党事務所で強制的閉鎖をさせられ、地主からの政治グループを強制的に立ち退かせるとの脅しを受けたという。

エ 記事「[アリーナ党のアブラハ・ディスタが誘拐未遂から逃れたとの報道](#)」エチオピア・オブザーバー (2020年5月24日)

野党アリーナ・ティグライ議長のアブラハ・デスタ [Abraha Desta] は、日曜日の夕方、メケレで「身元不明の者ら」が同氏を誘拐しようとしたと述べた。その数時間前、アブラハの公式でフェイスブックの投稿では、ワゴン車に乗った身元不明の者らが、州都のケベレ18区で同氏を誘拐しようとしたと投稿していた。アブラハは、同日、ティグライ州のいくつかの町で州政府に反対する大規模な集会が開催されたことを受けて、反対派を脅すための作戦だったのではないかと書いている。アブラハは、この事件の後に自身の無事について述べている。アリーナの渉外部長であるアムドン・ゲブレスラシエ [Amdom Gebreslasie] は、目撃者の証言をもとに、この誘拐未遂事件は州政府情報組織によるものだと非難している。ティグライ人民民主運動 (TPDM) の指導者の一人で、地元ではデミット [Demhit] として知られるツィガブ [Tsigabu] がアディグラット [Adigrat] の町で逮捕されたと、アムドムは自身のフェイスブックに投稿している。TPDM は、2001年にエリトリアで結成された元反政府組織で、2年前に2,000人以上のメンバーがティグライ州に戻ってきた。アムドムによると、ティグライ州の状況に不満を持ち、メンバーの一部はエリトリアに戻っているとのこと。TPDM は、TPLF がメンバーの州軍への再統合の誓約を実行していないと非難している。

...

オ 記事「[逮捕されたティグライ人若者が TPLF に損害をもたらす](#)」エチオピア・インサイト (2019年5月15日)

...

もしゲタキュー [Getachew] が存在しなかったら、彼らは市長に異議を唱えていたかもしれない。しかし、政治家の安心感は、少なくとも時間稼ぎには有効だった。4月14日、当局はネビユー [Nebiyu] を含む集会に参加した約60人の若者を逮捕した。ゲタチャーによると、ネビユーを含む5人の「トラブルメーカー」だけが、数週間後に無関係な別件で逮捕されたという。

伝えられているところによると、彼らは路上の清掃活動をしているときに当局に詰め寄せられたという。ティグライ州政府報道官のリヤ・カッサ [Liya Kassa] は、複数のコメントの求めにも応じておらず、彼らがなぜ逮捕されたのかは明らかになっていない。観測筋の一部は、彼らはこれらの権利運動家らを支持するつもりであったが、地域への脅威が続いており、国が不安定であるため、このタイミングが不適切であったと述べている。

TPLF 率いる州政府は、何十年もの間、反体制派の市民を逮捕してきた。反対派

を弾圧するために、権利や適正手続きの否定が日常的に行われてきた。野党アリーナ・ティグライ [Arena Tigray] のアブラハ・デスタ [Abraha Desta] 議長は、ボイス・オブ・アメリカのインタビューで、自分や家族が囚人と面会することを拒否されたと述べている。目撃者らによると、それは警察が彼らに暴行を加えたからだという。

9日間の拘束後、被拘束者は法的支援を受けられないまま裁判所に出廷し、彼らの訴訟は1ヶ月間延期された。もうひとつの適正手続違反の可能性として、その審理は秘密にされていたと言われている。また、警察はクハ [Kuha] で逮捕したネビユーを含む若者らに暴行を加えたと言われており、ティグライ州の他の地域でも逮捕が続いている。昨日行われた裁判では、保釈が認められず、警察は捜査期間の延長を認められた。

...

また、来年には連邦や地方の選挙が控えており、政治的緊張も高まっている。テンビエン [Tenbien] では、反対派のマイケル・テスファイ [Michael Tesfay] が逮捕され、その後釈放された。マイケルは、アリーナの著名なメンバーであり、テンビエンの草の根運動を統括している。アブラハは、近日中に状況を説明し、アリーナのメンバーを不当に逮捕した TPLF に対して告発を開始する予定だと述べている。

...

**カ 記事「[ウェブサイト開設者がティグレイ州治安当局者らに脅迫されたと供述](#)」
エチオピア・オブザーバー (2019年2月3日)**

メケレを拠点とするウェブサイト「ギーズ・メディア [Geez Media]」の開設者は、同州で身柄拘束されている政治囚について抗議する野党メンバーが出演する8分間の映像を公開した翌日の金曜日(2月1日)、ティグライ州治安部隊から逮捕すると脅されたと述べた。

金曜日の午後、治安部隊がティグライ州の州都メケルにある彼のオフィスにやってきて、彼を逮捕すると脅したと、アマンマイケル・メスフィン [Amanmichael Mesfin] は話した。同氏は、これは脅迫行為であり、同国の改革が歓迎されているにもかかわらず、ティグライ州が依然としてメディアの自由を抑圧する当局に支配されていることの証左であると述べた。同氏は、これまでもウェブサイトにはッキングを試みたり、金銭的な支援を奪うことを意図する試みはあったが、このような露骨な脅迫を受けたのは初めてだと明かした。

...

3. 2020年9月のティグライ州議会選挙

ア ドイツ連邦移民難民庁 (BAMF) 「[国別報告 33号 エチオピア：一般的な政治状況](#)」 ecoi (2021年5月)

4.2.7 ティグライ

...

ティグライでは、このような理由で分離独立派の勢力が影響力を持つようになった〔脚注 225 2020年2月8日付け Borkena 記事〕。特に、2020年8月に当初予定されていた議会選挙を新型コロナウイルス感染症蔓延のために無期限の延期決定した州選挙管理委員会 (NEBE) の決定を無視し、ティグライ州の地方選挙を行うと州政府が決定したことで明らかとなった。TPLF の議長であり、ティグライ州政府大統領であるデブレトン・ゲブレミカエル [Debretsiion Gebremichael] は、中央政府が地方選挙を阻止しようとするれば戦争をすると公然と警告した。8月中旬、ティグライ州の選挙委員会は、同州の地方選挙を 2020年9月6日に設定しました。TPLF は、この選挙で 190 議席中 189 議席を獲得した。民族主義者のバヤトナ・ティグライ [Baytona Tigray] が 1 議席を獲得した。実は、野党には原則として 38 議席を確保することが事前に合意されていた。しかし、選挙管理委員会は、TPLF の得票率が 98.2%だったため、選挙管理委員会は最終的に TPLF に 37 議席を追加配分したと説明している。野党は、候補者に対する脅迫を訴え、抑圧に言及した〔脚注 229 2020年2月8日付け Borkena 記事〕。メディア関係者の現地入りが禁止されたため、選挙に関する報道は厳しく制限された。

イ 記事「[エチオピアでの問題の州選挙での勝利が、連邦制の危険を高める](#)」Quartz (2020年9月13日)

TPLF はティグライ州議会の全 190 議席のうち 98.5%を獲得したが、残りの議席は野党間で分けられた。コロナウイルスの影響で連邦政府が国政選挙の無期限延期を決定し、国家選挙委員会がティグライ州の選挙の実施を拒否したため、3ヶ月前に設立されたティグライ州選挙委員会によると、260万人以上の有権者が登録され、投票率は 97%に達した。

「この選挙後、ティグライは正式に事実上の国家となった」と、比較的に小規模な野党のアリーナ・ティグライの議長であるアブラハ・DESTA [Abraha Desta] は言う。「野党が初めて政治に参加できるようになり、それなりの予算も与えられ、若者が地域の政治に積極的に参加する姿も見られるようになった。これは、ティグライの人々にとって大きな勝利です」と付け加えた。

...

ウ 記事「[アリーナがティグライ州選挙から身をかわす](#)」アディス・フォーチュン (2020年8月1日)

6月28日から30日にかけて行われた登録では、アシンバ [Assimba] 民主党、大ティグライ国民会議 [National Congress of Great Tigray] (通称バイトナ [Baytona])、サルサイ・ウオヤイン・ティグライ [Salsay Woyane Tigray]、ティグライ独立党 [Tigray Independence Party]、TPLF の 5 党が登録した。しかし、州の著

名な野党の一つであるアリーナは、NEBEの結論に同意した上で、選挙に参加しないことを発表した。

アリーナは先週発表した声明の中で、TPLFによる政治的な挑発、新型コロナウイルス(COVID-19)の流行、州選挙の非合法性などから、州で選挙を実施する環境が整っているとは思えないと述べている。

4. 連邦政府による暫定統治下のティグライ州野党の動向

ア [記事「ティグライ州暫定政府当局者が残虐行為と破壊への反対の声を上げたことを理由に解任されたと述べる」](#)アディス・スタンダード(2021年3月16日)

アムドム・ゲブレセラシエ [Amdom Gebreselassie] 通信局副局長、アルラ・ハブテブ [Alula Habteab] 建設・道路・交通局局長は、ティグライ州暫定行政府長官ムル・ネガ博士 [Mulu Nega, PhD] () からの通知により、その職務を解かれた。
...

イ [記事「ティグライ州暫定行政府長官がメケレに新市長が誕生すると述べ、公務員への職務再開を要請し、不法な小火器の戸別家宅捜索を警告」](#)アディス・スタンダード(2020年12月15日)

ティグライ州暫定行政府長官のムル・ネガ博士 [Mulu Nega, PhD] は、本日、地元メディアに対し、暫定行政府が首都メケレ市に新しい市長を任命したことを明らかにした。ムル博士は、新任者の名前は明かさずに、州政府の指導的地位や州行政府の様々な上級職に割り当てられている様々な野党の代表者と共に、ティグライ州の再建に向けた作業が進行中であると述べた。

ムル博士によると、これらの野党の中には、アリーナ・ティグライ、ティグライ民主党(TDP)、アシンバ [Assimba] 民主党(ADP)があります。

アリーナ・ティグライは、2000年初頭のTPLFの分裂をきっかけに、TPLF/EPRDFのメンバーだったゲブル・アスラット [Gebru Asrat] が設立した、州で最も古い野党の一つである。アリーナは現在、アブラハ・DESTA [Abraha Desta] が議長を務めている。TDPは、2018年まで亡命生活を送っていた元TPLFの幹部でもあるアレガウィ・ベルヘ [Aregawi Berhe] 博士が率いている。同氏は最近、大エチオピア再生ダム建設市民参加調整国家評議会事務所の事務局長に任命された。ドリ・アスゲドム [Dori Asgedom] が率いるADPは、2020年9月9日のティグライ州選挙にイロブ族コミュニティを代表して参加した4つの野党の一つである。なお、アリーナ・ティグライとTDPは、9月の州選挙をボイコットしている。
...

5. 近時のティグライ州外でのティグライ人の取扱い

ア [クリスチャン・ソリダリティー・ワールドワイド\(CSW\)](#) [「エチオピア: ティ](#)

グライでの暴力 ecoi (2021年9月)

軍の進撃に呼応するかのよう、エチオピア全土でティグライ人の民族市毀滅検査が強化され、強制的な失踪、幼い子どもを含む恣意的な拘束、アディスアベバにある約4万8,000のティグライ人が経営する企業の差し押さえと強制閉鎖が報告されている。700人のティグライ人の軍人とその家族がオロミア州のキャンプに収容されていると伝えられている。ゴンダールでは、ティグライ人であることを理由に暴行を受けている若者や、ティグライ族と民族的に血縁関係にあるとされるキマント族の少なくとも10体の男性の遺体など、民族に根ざした深刻な暴力行為を示す不穏な映像や写真が引き続き出てきている。エリトリアやスーダンとの国境にあるフメラ〔Humera〕では、アムハラ族の兵士がティグライ族を戸別に捜索し、数千人を仮の収容施設に押し込めたと伝えられている。その後、ティグライ族の入れ墨があり、拷問の跡があるきつく縛られた男性の遺体が、セティット/テケズ〔Setit/Tekeze〕川のスーダン側に漂着した。

イ アムネスティ・インターナショナル (AI) エチオピア：アディスアベバのティグライ人、活動家とジャーナリストの恣意的な逮捕を止め、行方不明の被収容者の居場所を明らかにせよ (2021年7月16日)

アムネスティ・インターナショナルは、6月28日にティグライ防衛軍 (TDF) を名乗るティグライ人民解放戦線 (TPLF) の部隊がティグライ州の州都メケルを奪還したことを受け、アディスアベバの警察が数十人のティグライ人を正当な手続きを経ずに恣意的に逮捕・拘禁したと発表した。逮捕は民族的な動機によるものとみられ、元被拘禁者や目撃者、弁護士は、警察が逮捕して収容施設に連れて行く前に身分証明書を調べたと述べている。

...

ウ エチオピア人権委員会 「ティグライ州：人権が紛争後の復興を導く」 Facebook (2020年11月30日)

また、EHRCは、ティグライ族出身者に対する民族プロファイリングに関する苦情を監視してきた。特に、離職の強制や、職務での海外出張や、治療や勉強のための海外渡航の阻止などに顕著に現れている。EHRCは、民族識別検査を容認する政府の政策や法的枠組みがないにも関わらず、特定の容疑者を逮捕するための治安措置がその適用範囲を超え、より広範囲のコミュニティに影響を与えていることに重大に懸念している。EHRCは、関連当局からこの問題に対処するための早急な措置を確約されている。したがってEHRCは、当局、特に空港のセキュリティ当局に対し、適切な法的正当性がない限り、いかなる旅客の移動も阻止することを直ちにやめるよう求める。EHRCは引き続きこの状況を監視していく。

エ ACCORD 「エチオピア：COI 編纂」 ecoi (2019年11月)

7.3.3 ティグライ族の人々の取扱い

アムハラ州とティグライ州の国境地帯の紛争に関する情報は、セクション 7.2 も参照ください。

アムハラ州では 2018 年 6 月に「バティ町のティグライ族の事業者コミュニティが攻撃を受けた」と宝石店経営者は言う。アリーナ政党の議長によると、ティグライ族系の 1 名が殺害されたと伝えられているが、裏は取れていない（2018 年 6 月 27 日付けボルキナ [Borkena]）。ティグライ行政府は、「ティグライ族の住民に対する攻撃の報告や疑惑が出ている」アムハラ州のケミセ [Kemisse] とバティ [Bati] に調査チームを派遣した（2018 年 6 月 30 日付けザ・リポーター・エチオピア [The Reporter Ethiopia]）。

2018 年 12 月のロイターの報道の通り、多くのティグライ人が「エチオピアの他の場所での民族的暴力の激化を懸念している」とし、次の通り付け加えている。

「ティグライ州は、他の地域と異なり、他の民族の人々があまり多く住んでいないため、ほとんど影響を受けていないが、アビーが他の地域での流血を止めるために十分な努力をしていないと住民らはロイターに話した。また、ティグライ族コミュニティに対する大規模な攻撃の報告はないものの、報復を恐れて仕事や事業を放棄してティグライ州に戻った家族がいるという者らもいた。」（2018 年 12 月 16 日付けロイター）

2018 年 10 月のエチオピア・インサイトは、「ティグライ州はここ数年、比較的平和だった」と記しているが、2018 年 10 月 21 日に「アムハラ州との国境近くのアラマタ [Alamata] 町でのティグライ支配に反対する抗議運動への対応として」、州警察が少なくとも 3 人を殺害したことに触れている。記事はさらに次の通り述べる。

「オロミア州やアムハラ州、南部諸民族州の一部でよく見られる光景だが、アラマタでは地元のティグライ人当局者に不満を持つ若者らがタイヤを燃やして道路を封鎖したと、匿名希望の教師が話した。州警察が 5 人を殺害し、その後 2 人を殺害し、20 人が重傷を負ったと、同人は述べた。」（2018 年 10 月 28 日付けエチオピア・インサイト）

ザ・ニュー・ヒューマニタリアン [TNH] による 2019 年 2 月の記事は、メケレ大学のティグライ人法学部教授のゲブレ・ウェレスラセ [Gebre Weleslase] の言葉を引用し、同教授が「アビーが民族的な攻撃を非難していないとしてアビーを批判し、ここ数年そのことが何万人ものティグライ人がアムハラ州からティグライに出て行く一因になっていると述べている」。また、同記事では、ティグライ人に対する他のエチオピア人の態度について述べているアメリカ・アムハラ協会会長のテオドロセ・ティルフェ [Tewodrose Tirfe] の言葉を引用している。

「[...] エチオピア人が TPLF に対して抱いている「憎しみ」の感情は、「ティグライ人には及ばない」。他のエチオピア人がティグライ州で TPLF を支持する集会があると聞くときには、その者らに対する腹立たしさがある。なぜなら、改革の努力を支持していないように見えるためだ。」と彼は言う。しかし、それは彼

らを標的にすることにはつながらない。もしそうでなければ、もっと多くの避難民が出ていたでしょう。」(2019年2月14日付けザ・ニュー・ヒューマニタリアン)

2019年1月のエチオピア・インサイトでは、「TPLFとティグライ人を同一視する傾向が、特にアムハラ人のエリートたちの間で強いが、全国的に広まっている」と指摘している(2019年1月17日付けエチオピア・インサイト)。2019年9月に発表されたエチオピア・インサイトの別の記事では、ティグライ人に関する態度がさらに説明されている。

「実際、最近の言説の中には、暗にティグライ人を狙ったものもある。「日中のハイエナ」(ye qen jiboch)のような表現は、改革を妨害しようとする民族紛争起業家や、国家機関の腐敗役人を暗示しており、当初は首相により発言されていたものだが、一般のティグライ人を中傷するための一般的な婉曲表現となっている。その結果、彼らは首相に対する敵意を募らせることになった。」(2019年9月28日付けエチオピア・インサイト)

2019年2月のフリーダムハウスは、2018年11月と12月の軍および政府の当局者の逮捕について言及している。

「2018年11月から12月にかけて、知名度の高い軍および政府の多数の当局者が、汚職容疑で逮捕され、起訴された。とりわけ、軍営するメタル・エンジニアリング社〔Metals and Engineering Corporation〕(MeTEC)は、最高経営責任者を含む26名の幹部職員が汚職容疑で逮捕され、年末時点で裁判を待っていることであった。何十年もの間、軍部を支配してきたティグライ族の当局者を選択的に訴追していると非難する批評家もいる。しかし、ティグライ族以外の当局者も多数逮捕されている。」(2019年2月4日付けフリーダム・ハウス、セクションC2)

2018年12月、メケレ市の住民らは「汚職や権力濫用の取り締まりを進める中で、主にティグライ人を対象とした民族識別検査〔ethnic profiling〕と呼ばれるもの」に抗議した。TPLFの議長と州政府大統領は、メケレ・スタジアムでデモ参加者の前で演説を行った。既に、2018年11月には、「アドワ〔Adwa〕、アクスム〔Axum〕、コレム〔Korem〕、アビ・アディ〔Abiy Adi〕、セティット・フメラ〔Setit Humera〕、アラマタ〔Alamata〕、アデイス〔Addisu〕やモヘニ〔Moheni〕などのティグライ州の様々な町で集会が開催された」。(2018年12月9日付けイゼガ〔Ezega〕)

参照：

(報告等)

アムネスティ・インターナショナル (AI) 「Ethiopia: End arbitrary detentions of Tigrayans, activists and journalists in Addis Ababa and reveal whereabouts of unaccounted detainees」〔エチオピア：アデイスアベバのティグライ人、活動家とジャーナリストの恣意的な逮捕を止め、行方不明の被収容者の居場所を明らか

にせよ]」(2021年7月16日)、オンライン:

<https://www.amnesty.org/en/latest/press-release/2021/07/ethiopia-end-arbitrary-detentions-of-tigrayans-activists-and-journalists-in-addis-ababa-and-reveal-whereabouts-of-unaccounted-detainees/>

エチオピア人権委員会「Tigray Region: Human rights should guide post-conflict reconstruction [ティグライ州: 人権が紛争後の復興を導く]」Facebook (2020年11月30日)、オンライン:

<https://www.facebook.com/202584253551816/posts/tigray-region-human-rights-should-guide-post-conflict-reconstruction-the-ethiopi/1017877458689154/>

オーストリア出身国・庇護研究ドキュメンテーションセンター (ACCORD)「Ethiopia: COI Compilation [エチオピア: COI 編纂]」ecoi (2019年11月)、オンライン:

https://www.ecoi.net/en/file/local/2021013/ACCORD_Ethiopia_COI_Compilation_November_2019.pdf

クリスチャン・ソリダリティー・ワールドワイド (CSW)「エチオピア: ティグライでの暴力」ecoi (2021年9月)、オンライン:

<https://docs-eu.livesiteadmin.com/dc3e323f-351c-4172-800e-4e02848abf80/violence-in-tigray-september-2021.pdf>

ドイツ連邦移民難民庁 (BAMF)「国別報告 33号 エチオピア: 一般的な政治状況」ecoi (2021年5月)、オンライン:

https://coi.easo.europa.eu/administration/germany/PLib/DE_BAMF_Laenderreport_33_Aethiopien_May-2021.pdf

米国国務省「人権状況に関する国別報告 2019年 エチオピア (法務省仮訳)」入管庁ウェブ (2020年3月11日)、オンライン:

https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyuukokukanri03_00019.html

_____。「人権状況報告 2010年 - エチオピア (法務省仮訳)」入管庁ウェブ (2011年4月8日)、オンライン:

https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyuukokukanri03_00019.html

(記事)

Addis Fortune「Arena Shies Away from Tigray Regional Election [アリーナがティグライ州選挙から身をかわず]」(2020年8月1日)、オンライン:

<https://addisfortune.news/arena-shies-away-from-tigray-regional-election/>

Addis Standard「Tigray interim admin CEO says Mekelle gets new mayor, urges civil servants to resume work and cautions door-to-door search for unlawful firearms begins today

[ティグライ州暫定行政長官がメケレに新市長が誕生すると述べ、公務員への職務再開を要請し、不法な小火器の戸別家宅捜索を警告]」A (2020年12月15日)、オンライン:

<https://addisstandard.com/news-tigray-interim-admin-ceo-says-mekelle-gets-new-mayor-urges-civil-servants-to-resume-work-and-cautions-door-to-door-search-for-unlawful-firearms-begins-today/>

- _____. 「Tigray Interim Admin Officials say they are dismissed for speaking up against atrocities and destruction [ティグライ州暫定政府当局者が残虐行為と破壊への反対の声を上げたことを理由に解任されたと述べる]」(2021年3月16日)、オンライン：<https://addisstandard.com/news-analysis-tigray-interim-admin-officials-say-they-are-dismissed-for-speaking-up-against-atrocities-and-destruction/>
- Ethiopia Insight 「Detained Tigrayan youth land blow on TPLF [逮捕されたティグライ人若者がTPLFに損害をもたらす]」(2019年5月15日)、オンライン：<https://www.ethiopia-insight.com/2019/05/15/detained-tigrayan-youth-land-blow-on-tplf/>
- Ethiopia Observer 「Arena's Abraha Desta reportedly escapes kidnapping attempt [アリーナ党のアブラハ・ディスタが誘拐未遂から逃れたとの報道]」(2020年5月24日)、オンライン：<https://www.ethiopiaobserver.com/2020/05/24/arenas-abraha-desta-reportedly-escapes-kidnapping-attempt/>
- _____. 「Website founder says he was threatened by Tigray regional state's security agents [ウェブサイト開設者がティグレイ州治安当局者らに脅迫されたと供述]」(2019年2月3日)、オンライン：<https://www.ethiopiaobserver.com/2019/02/03/website-founder-says-he-was-threatened-by-tigray-regional-states-security-agents/>
- Quartz 「A controversial regional election win in Ethiopia has raised the stakes for its federal system [エチオピアでの問題の州選挙での勝利が、連邦制の危険を高める]」(2020年9月13日)、オンライン：<https://qz.com/africa/1902614/ethiopia-tigray-tplf-party-wins-controversial-election/>